



万葉の里初瀬(はせ)の道を歩いて 長谷寺へ

担当1班

初瀬は現在の桜井市東部、初瀬川溪谷付近を指します。古代はつせと呼ばれ泊瀬または長谷とも書き、長谷寺があることでも知られています。「穂りくの泊瀬(こもりくのはつせ)」ともいわれ山に囲まれた静かな山里です。東西の道が交差した要衝の地で、雄略天皇の泊瀬朝倉の宮や武烈天皇の泊瀬列城宮(はせのなみきのみや)の皇居があったとされ、万葉集にはこの地にちなんだ歌が50首もあるそうです。ご存じ長谷寺は西国33か所第八番の霊場で花の寺として知られています。古をしのび万葉歌碑を見つつガイドの案内で秋の大和路を歩いてみましょう。

【日時 集合】 11月1日(金) 近鉄大和朝倉駅 10時10分 改札口付近集合

参考 近鉄鶴橋 8時57分急行松阪行き 9時17分五位堂乗り換え9時25分大和朝倉9時51分
同 9時11分急行青山町行き 乗り換えなし 大和朝倉 9時55分

【コース】 大和朝倉駅 10:20→玉列神社→脇本遺跡(泊瀬朝倉宮跡)春日神社→白山神社→12:00 十二柱神社(武烈天皇泊瀬列城宮跡)昼食班長会議 12:40→初瀬観光センター13:00→13:10 長谷寺参道→13:40 長谷寺参観→15:10 仁王門前で解散 近鉄長谷寺駅まで徒歩20分(時間は概略です)

【持ち物】 弁当 飲み物 ハイキングスタイル 念のため雨具

【グループ分け】 ガイドの関係で6グループに分けます。詳細は後日案内します。

【参加費用】個人負担200円(ガイド料1人100円前後入山料450円 うち350円そら組負担)

各班 25 日までに1班西村さんに参加者分をお渡しください。

【実施可否】 前日の桜井市の天候で降水確率 50%以上の時は中止します。

【出欠確認】 各班 18 日までに参加者人数を1班班長畑までお知らせください。

◎ 出発後10分程度の玉列神社にトイレがあります。出発を遅らせないためこちらも利用ください。



長谷寺



萬葉集発耀讃仰の碑(白山神社)



十二柱神社

長谷寺 真言宗豊山派の総本山西国 33 力所第八番観音霊場 天武天皇の病氣平癒を祈り、川原寺の僧道明が法華説相図をこの地に祀ったのが始まりとされる。平安時代観音信仰の中心として賑わい、枕草子 源氏物語などにも登場している。

萬葉集発耀讃仰の碑(白山神社) 雄略天皇の泊瀬朝倉宮がこの周囲にあったといわれ、雄略天皇が歌われた万葉集一卷筆頭の歌碑が境内にたっている。

十二柱神社 国常立神など神代7代の神と天照大神など地神5代の神を祀る。

この地の集落「出雲」は野見宿禰を祖としており相撲発症の地として知られる。境内の五輪塔は野見宿禰の墓とされている。また境内一帯は武烈天皇の泊瀬列城宮の伝承地とされる。